

オリンピックで上昇期待の15銘柄

企業名(市場・証券コード)	株価	注目ポイント
丸大食品(P・2288)	1715円	ソーセージなどのパッケージで、日本代表選手のイメージイラストを使ったパリ五輪限定デザインを展開
味の素(P・2802)	6233円	日本代表選手に「アミノバイタル」など各種サプリメントを提供するほか、食事など栄養面から選手をサポート
ハブ(S・3030)	893円	運営する英国風パブ「HUB」での観戦客増加に期待。インバウンド需要増に積極的な出店攻勢もプラス
ブリヂストン(P・5108)	6148円	五輪・パラリンピックのワールドワイドパートナーとして大会公式車両の一部にタイヤを供給
ジェイエスエス(S・6074)	541円	スイミングスクール大手で会員制スポーツクラブなども展開。同社所属の飛び込み選手の活躍にも期待
メディアリンクス(S・6659)	227円	世界中の放送局や通信事業者に配信技術を提供。五輪やサッカーW杯などビッグイベントの放送も支えてきた
パナソニックホールディングス(P・6752)	1271円	五輪・パラリンピックのワールドワイドパートナーとして会場に映像を流すための最新AV機器システムを提供
スプリックス(S・7030)	808円	学習塾やダンススクールなどを展開。新競技のプレイキンによるダンス熱の高まりが追い風
トヨタ自動車(P・7203)	3109円	五輪・パラリンピックのワールドワイド・モビリティパートナーとして2650台以上の電動車を提供
アシックス(P・7936)	2518.5円	日本代表選手団の公式スポーツウェアやシューズ、バッグなどを提供。シューズは各国代表選手も採用
日本航空(P・9201)	2517.5円	JOC(日本オリンピック委員会)のオフィシャルサポーターとしてANAと共同で選手団の輸送をサポート
ANAホールディングス(P・9202)	2977円	JOCのオフィシャルサポーターとして日本航空と共同で選手団の輸送をサポート。インバウンドも追い風
KDDI(P・9433)	4612円	日本代表選手の現地での活躍などを臨場感のある動画コンテンツとして配信サポートする
モリト(P・9837)	1504円	各種パーツの総合商社でスケートボードやサーフボードも扱う。スケボーやサーフィンの選手の活躍に期待
ファーストリテイリング(P・9983)	4万1320円	スウェーデン代表選手団に公式ウェア約250アイテムを提供。店頭回収したリサイクル素材も一部で活用

※企業名は証券コード順に並べた。市場はP(プライム)、S(スタンダード)。株価は7月23日終値。単元株数はいずれも100株。

金メダル2桁なら株価急上昇!?
この夏、爆騰期待の銘柄⑮

パリ五輪は、投資のチャンスにもなりうる。五輪のスポンサー企業にとつて露出が大きく増える機会になるだけでなく、代表選手の活躍に刺激を受けて消費が拡大し、関連銘柄の株価上昇などが期待されるためだ。

こんなデータがある。景気探検家でエコノミストの宅森昭吉氏の解説だ。「夏季五輪では1968年のメキシコ大会以降、日本人選手の金メダル数が2桁に達した6大会(※)では、開催期間中の日経平均株価がすべて上昇しているというアノマリ(経歴則)があり、日本人選手がメダルを量産すれば、応援する人々も盛り上がり、

スポーツバーなどに皆で集まって観戦しようという機運も高まるでしょう。そうすると、飲食や交通などの関連消費が拡大し、さらにグッズ購入などの消費でも株価に好影響が及ぼすと考えられます。

しかも、金メダル2桁となった6大会のうち4大会は、五輪期間中だけでなく大会終了後も日経平均が上昇している。今

大会も10個以上の金メダル獲得は射撃圈内と考えられ、期待できるでしょう」

お家芸の柔道をはじめレスリング、スケートボードなど金メダルが期待される競技は数多くあり、大会期間中から五輪後にかけて「爆騰が期待できる銘柄」を仕込むなら、今がチャンス」とする見方だ。

社名の世界的な露出が増え、世界最先端の技術やサービス提供に関する市場への浸透力向上が期待できます。今回、ワールドワイドパートナーとなったトヨタ自動車、ブリヂストン、パナソニックホールディングスの3社は狙い目でしょう」

トヨタは大会期間中、



関係者やボランティアなどが使用する電動車を2650台以上提供し、それら公式運営車両などにブリヂストンのプレミアムタイヤが装着される予定だ。パナソニックは会場を彩るAV機器を提供するといったかたちで、日本企業の製品が世界に向けてアピールされる格好になるのだ。

加えて岡山氏は、JOC(日本オリンピック委員会)が管理するパートナー企業がアシックスを注目銘柄に挙げた。前述の通り、パリ五輪・パラリンピックに出場する日本人選手団のオフィシャルスポンサーウェアを提供するなどして、大会期間中の存在感が高まる。「他にも、パリ観光の需要が期待される航空業界は、インバウンド関連銘柄として注目されるなかで、パリ五輪の盛り上がりが追い風となる可能性があります(岡山氏)」

カブ知恵代表の藤井英

※メキシコ大会のほか、72年のミュンヘン大会、84年のロサンゼルス大会、04年のアテネ大会、16年のリオデジャネイロ大会、21年の東京大会の6大会。

敏氏は、日本国内の消費拡大に目を向ける。「日本人選手の活躍次第で大きな浮揚効果が期待できる業種としては、友人・知人と集まって観戦する「場」を提供できる飲食業が挙げられます。大画面のプロジェクトターやスクリーンが完備された英国風パブ「HUB」を運営するハブは、積極的な出店攻勢を続けており、各競技で日本勢が躍進すれば、大きな集客効果が望めます」

岡山氏、藤井氏が挙げた注目銘柄は別表にまとめた通りだ。

「個別の競技では、金メダルへの期待が高まるスケートボード、ダンスを競う新競技・プレイキンなどの関連銘柄を挙げました。日本人選手が金メダル級の活躍をすれば、関連業界の盛り上がりは必至でしょう(藤井氏)」

投資を検討する人々にとつても、勝負の夏、がやってくる。